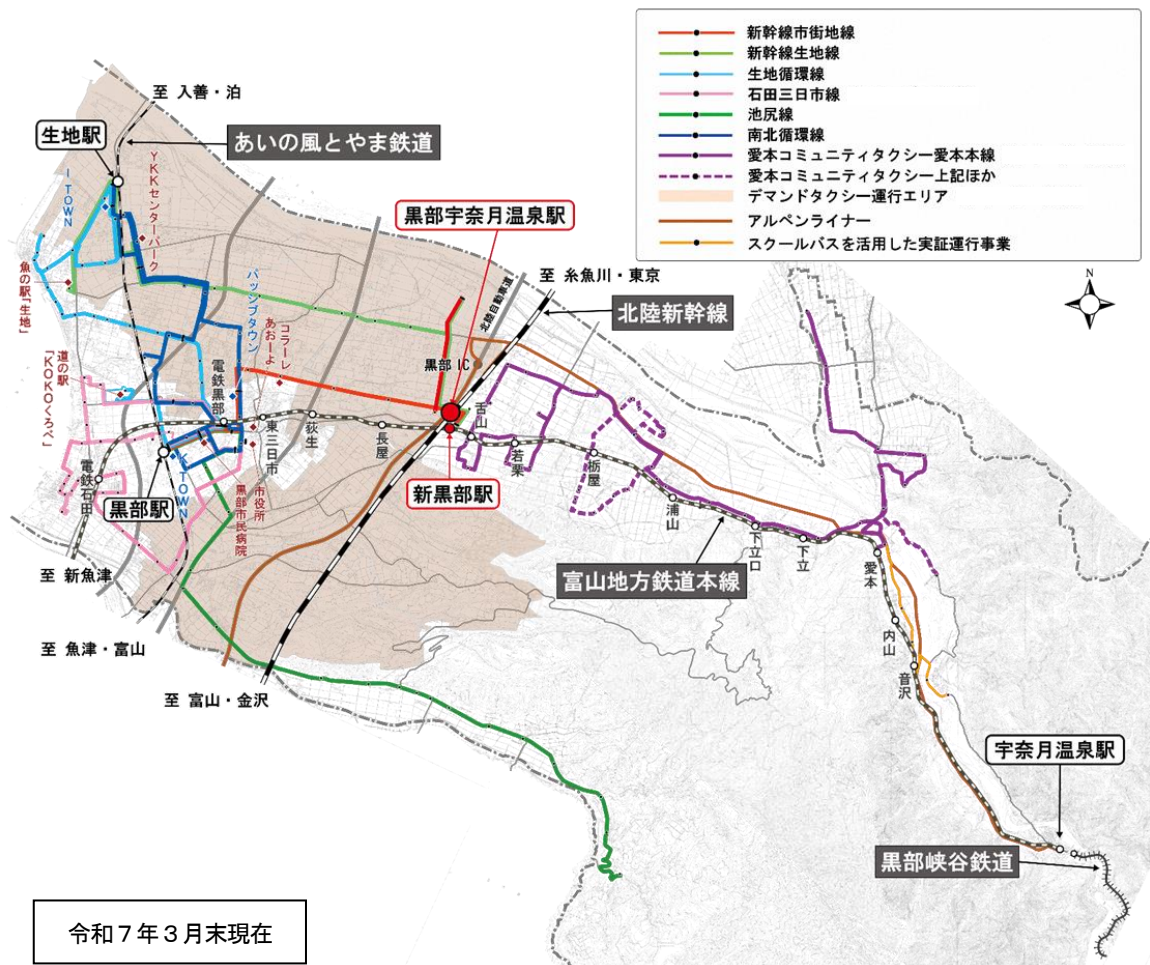


令和6年度の市内公共交通利用者数について

資料 3

1. 黒部市内公共交通の概要

- 黒部市では、広域交通軸として南北に縦断する北陸新幹線、地域交通軸として海岸部付近を南北方向に走るあいの風とやま鉄道（市内2駅）、市域を東西方向に走る富山地方鉄道本線（市内16駅）が骨格となり、地域の状況に応じた路線バス（6路線）、コミュニティ交通（愛本コミュニティタクシー、デマンドタクシー）によるネットワークが形成されています。
- 市東部の宇奈月温泉地区では、観光列車として有名な黒部峡谷鉄道が運行しています。



2. 黒部市内公共交通の利用状況

(1)【鉄道】北陸新幹線黒部宇奈月温泉駅における乗降調査結果

- 北陸新幹線黒部宇奈月温泉駅の利用状況を把握するため、乗降調査を行いました。
実施方法：黒部宇奈月温泉駅改札を通過する利用者を目視により計数調査
実施時間：6 時～22 時台（終電到着後一定時間まで）
- 令和 6 年度の乗降人数は半数以上の調査日で令和 5 年度及び令和元年度を下回っています。
- 令和 5 年度と比較すると、日曜日や祝日の多くは乗降人数が大きく下回る傾向があります。
- 令和 5 年度からの増加割合が最も大きかったのは 2 月 13 日の運行であり、およそ 1.2 倍となっています。

表 黒部宇奈月温泉駅乗降者数（黒部市調べ）

調査日	令和 6 年度							R5 同期 乗降人数	乗降人数 対 R5 割合 (R6/R5)	R1 同期 乗降人数	乗降人数 対 R1 割合 (R6/R1)	備考 令和 5 年度 実施日
	乗車 人数 (a)	うち ビジネス	降車 人数 (b)	うち ビジネス	乗降 人数 (a+b)	うち ビジネス	ビジネス 割合					
令和 6 年 5 月 3 日 (金・祝)	1,150	8	1,644	0	2,794	8	0.3%	3,258	85.8%	3,400	82.2%	令和 5 年 5 月 3 日 (水・祝)
令和 6 年 6 月 20 日 (木)	605	211	601	189	1,206	400	33.2%	1,188	101.5%	1,603	75.2%	令和 5 年 6 月 15 日 (木)
令和 6 年 6 月 23 日 (日)	713	43	871	45	1,584	88	5.6%	1,651	95.9%	1,945	81.4%	令和 5 年 6 月 18 日 (日)
令和 6 年 8 月 10 日 (土)	1,115	24	1,861	22	2,976	46	1.5%	2,949	100.9%	3,031	98.2%	令和 5 年 8 月 11 日 (金・祝)
令和 6 年 11 月 3 日 (日)	1,295	41	1,356	41	2,651	82	3.1%	3,348	79.2%	2,623	101.1%	令和 5 年 11 月 5 日 (日)
令和 6 年 11 月 14 日 (木)	982	222	1,045	223	2,027	445	22.0%	2,084	97.3%	2,060	98.4%	令和 5 年 11 月 9 日 (木)
令和 7 年 2 月 13 日 (木)	602	256	587	223	1,189	479	40.3%	969	122.7%	1,413	84.1%	令和 6 年 2 月 1 日 (木)
令和 7 年 2 月 16 日 (日)	800	35	819	36	1,619	71	4.4%	1,808	89.5%	1,561	103.7%	令和 6 年 2 月 11 日 (日)

表 黒部宇奈月温泉駅年度別乗車人数推移

	令和 2 年度	令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度
黒部宇奈月温泉駅 乗車人数	123,915	150,571	230,329	289,559	296,895

(出典：JR西日本)

(2)【鉄道】あいの風とやま鉄道(旧JR北陸本線)の利用状況

- あいの風とやま鉄道市内駅の1日平均乗降客数は、平成27年3月の同鉄道開業以降はゆるやかな増加傾向にありましたが、新型コロナウイルスの影響から令和元年度に減少に転じ、令和2年度は更に前年度を大きく下回りました。令和3年度からは前年度を上回り、新型コロナウイルス感染拡大の影響から回復傾向が見られていますが、令和元年度と比較すると乗降人数は下回る状況が続いています。
- 駅ごとにみると黒部駅、生地駅ともに令和6年度の1日当たりの乗降客数は、前年度と比較して増加していますが、一方で、どちらの駅も令和元年度と比較すると、乗降人数は下回っており、新型コロナウイルス感染拡大からの回復基調にあるものの以前の水準には回復しきれていない状況です。

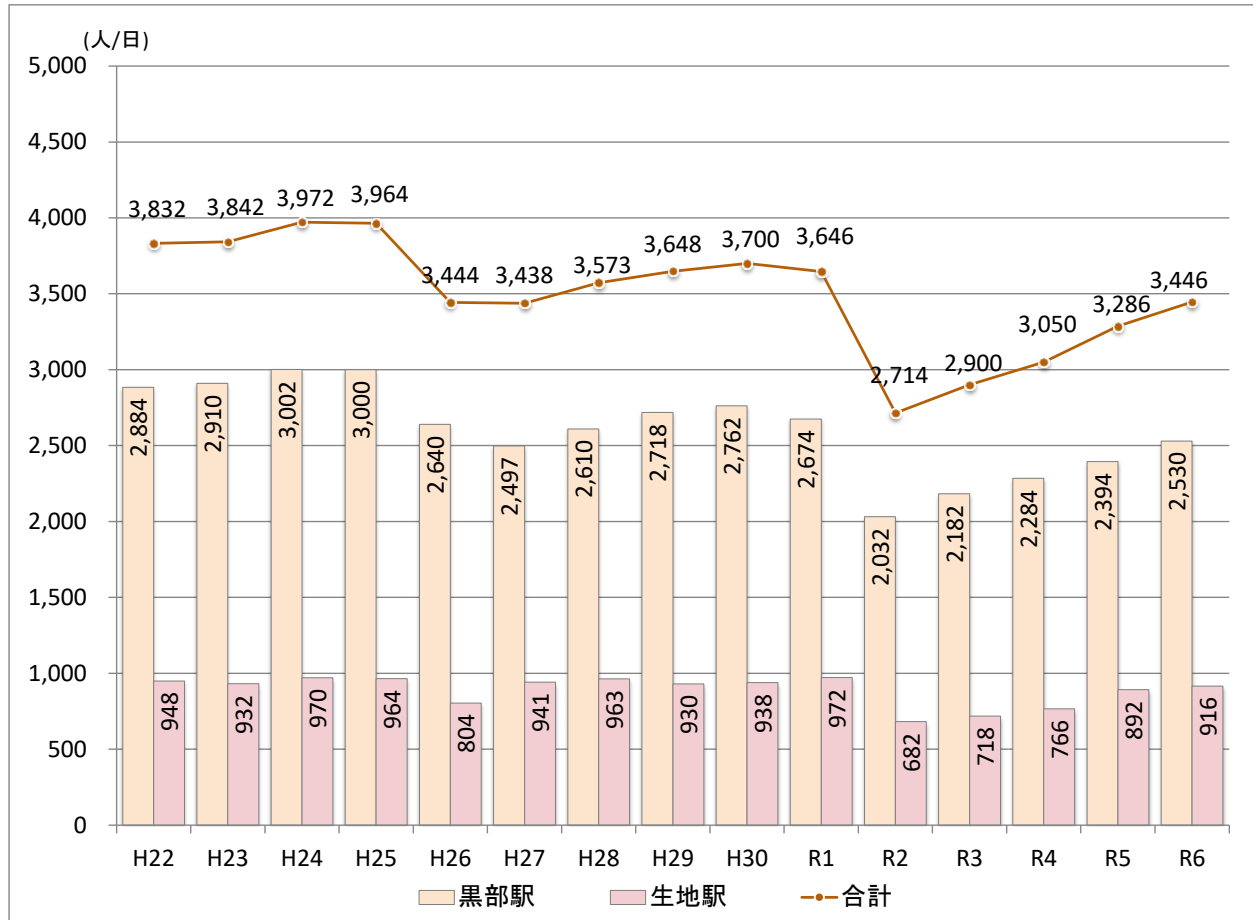


図 あいの風とやま鉄道(旧JR北陸本線)市内駅の1日当たり乗降客数の推移

表 あいの風とやま鉄道黒部市内鉄道駅の1日当たり乗降客数前年比

	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
黒部駅	96.7%	100.9%	103.2%	99.9%	88.0%	94.6%	104.5%	104.1%	101.6%	96.8%	76.0%	107.4%	104.7%	104.8%	105.7%
生地駅	95.6%	98.3%	104.1%	99.4%	83.4%	117.0%	102.3%	96.6%	100.9%	103.6%	70.2%	105.3%	106.7%	116.4%	102.7%
合計	96.4%	100.3%	103.4%	99.8%	86.9%	99.8%	103.9%	102.1%	101.4%	98.5%	74.4%	106.9%	105.2%	107.7%	104.9%

(出典:平成26年は平成27年3月13日まではJR西日本、平成27年3月14日以降はあいの風とやま鉄道)
※緑色は前年度比で増加を示しています。

(3)【鉄道】富山地方鉄道本線全体の利用状況

- 富山地方鉄道本線全体の1日平均乗降客数は、新型コロナウイルスの影響から令和2年度に利用者数が大幅に減少しています。令和3年度以降は回復基調に転じており、令和6年度は新型コロナウイルス感染拡大前の約9割程度となっています。

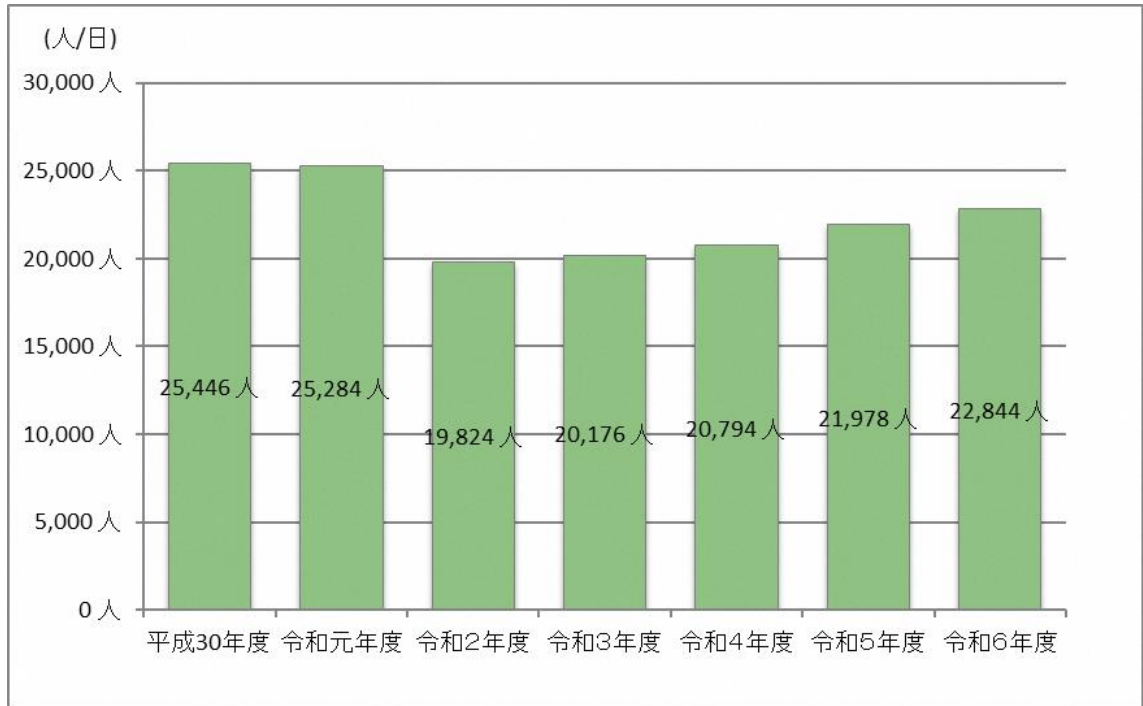


図 富山地方鉄道本線 1日あたり乗降客数推移 (出典：富山地方鉄道株式会社)

(4)【路線バス】新幹線市街地線の利用状況

- ・ YKK荻生製造所まで延伸した平成29年度から令和元年度にかけては、利用者数はおおむね増加傾向にあり、延伸効果がみられた一方で、黒部駅から黒部宇奈月温泉駅へのアクセス交通という当初の目的が浸透せず、利用者数は伸び悩んでいます。
- ・ 令和2年度の利用者数は新型コロナウイルスの影響で大きく減少しており、令和3年度に若干の回復が見られ、令和5年度までは横ばい傾向が続いていましたが、令和6年度の利用者数は前年度と比較して大きく増加しています。

表 新幹線市街地線 年度別利用者数推移

	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
利用者数	10,590	12,551	12,200	12,533	15,249
前年対比	63.0%	118.5%	97.2%	102.7%	121.7%
1日平均	29.0	34.4	33.4	34.2	41.8
1便平均	1.1	1.3	1.4	1.4	1.7

※1日平均の数値は年間利用者数を365日(閏年は366日)で割り返して算出しています。

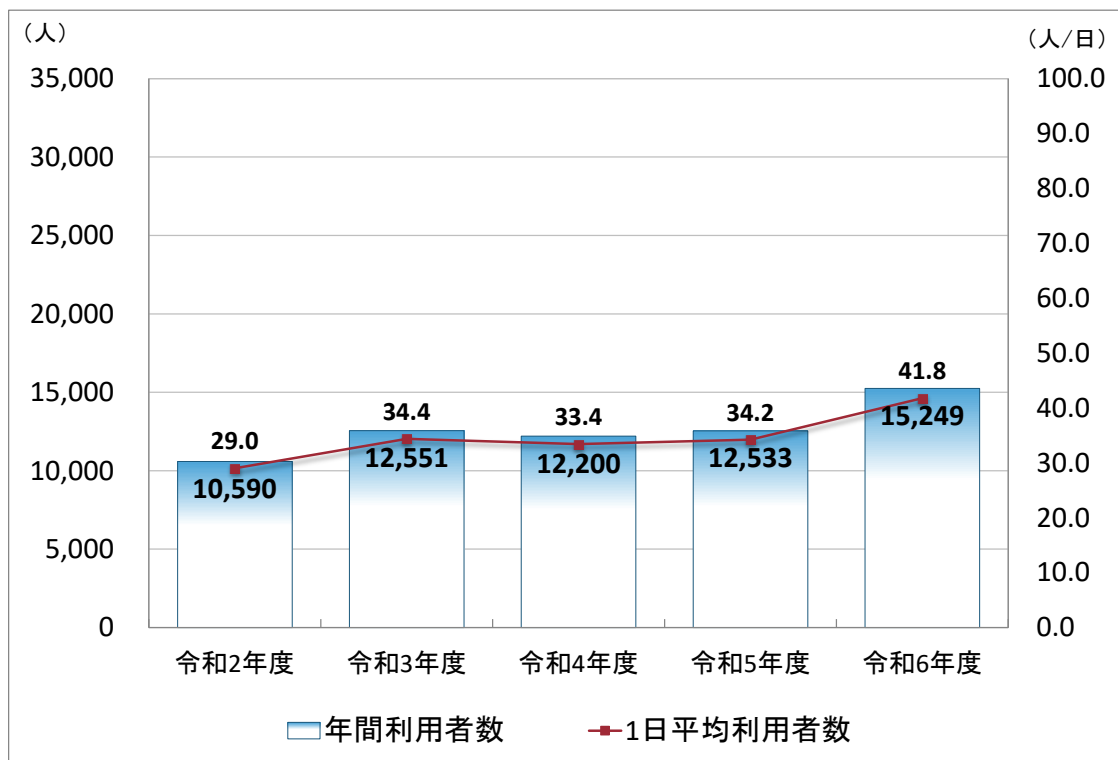


図 新幹線市街地線 年度別利用者数推移

(5)【路線バス】新幹線生地線の利用状況

- ・ 系統を増やした平成29年度以降は、利用者数が大幅に増加しており、1日当たり100人を超える利用で推移していましたが、令和2年度には新型コロナウイルスの影響で利用者数は大幅に減少しました。
- ・ 令和3年度以降は利用者数が回復しており、令和5年度は新型コロナウイルス感染症拡大以前の令和元年度を超え大幅に増加しましたが、令和6年度は減少に転じています。
- ・ 令和6年度の平日・休日の平均利用者数を見ると、平日の利用者は減少しているものの、休日の利用者は増加しています。

表 新幹線生地線 年度別利用者数推移

	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
利用者数	15,601	18,611	19,627	31,882	31,263
前年対比	49.7%	119.3%	105.5%	162.4%	98.1%
1日平均	51.8	59.5	60.4	92.7	88.3
平日平均	64.8	77.8	81.6	131.5	127.3
1便平均	2.8	3.5	3.7	6.0	5.8
休日平均	4.8	3.1	4.2	4.2	5.2
1便平均	2.0	1.9	2.0	1.8	2.1

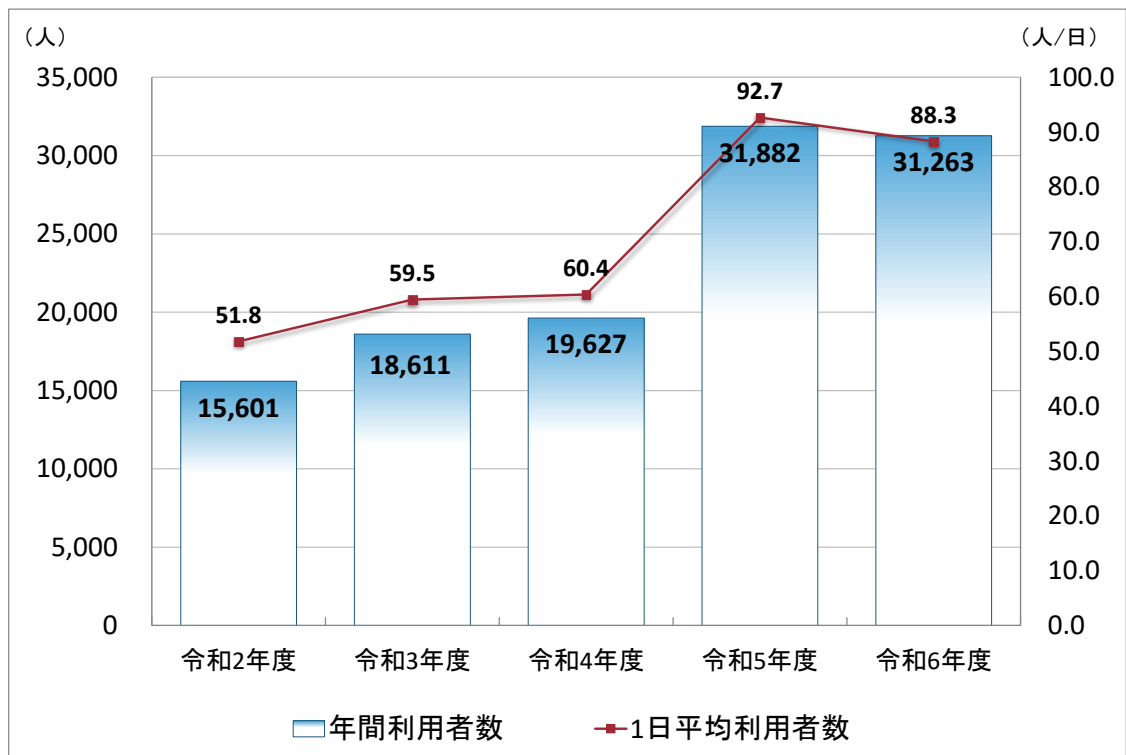


図 新幹線生地線 年度別利用者数推移

(6)【路線バス】 生地循環線の利用状況

- 平成26年度以降、年間利用者数が緩やかな減少傾向にある中で、令和2年度、3年度の利用者数は新型コロナウイルスの影響で利用者数は大幅に減少するものの、道の駅KOKOくろべへ延伸した令和4年度以降は回復基調となっており、令和6年度も増加が続いています。

表 生地循環線 年度別利用者数推移

	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
利用者数	14,857	14,327	15,285	17,130	17,640
前年対比	78.4%	96.4%	106.7%	112.1%	103.0%
1日平均	41.3	39.3	41.9	46.8	48.3
1便平均	1.7	1.6	1.9	2.1	2.2

※1日平均の数値は年間利用者数を365日(閏年は366日)で割り返して算出しています。

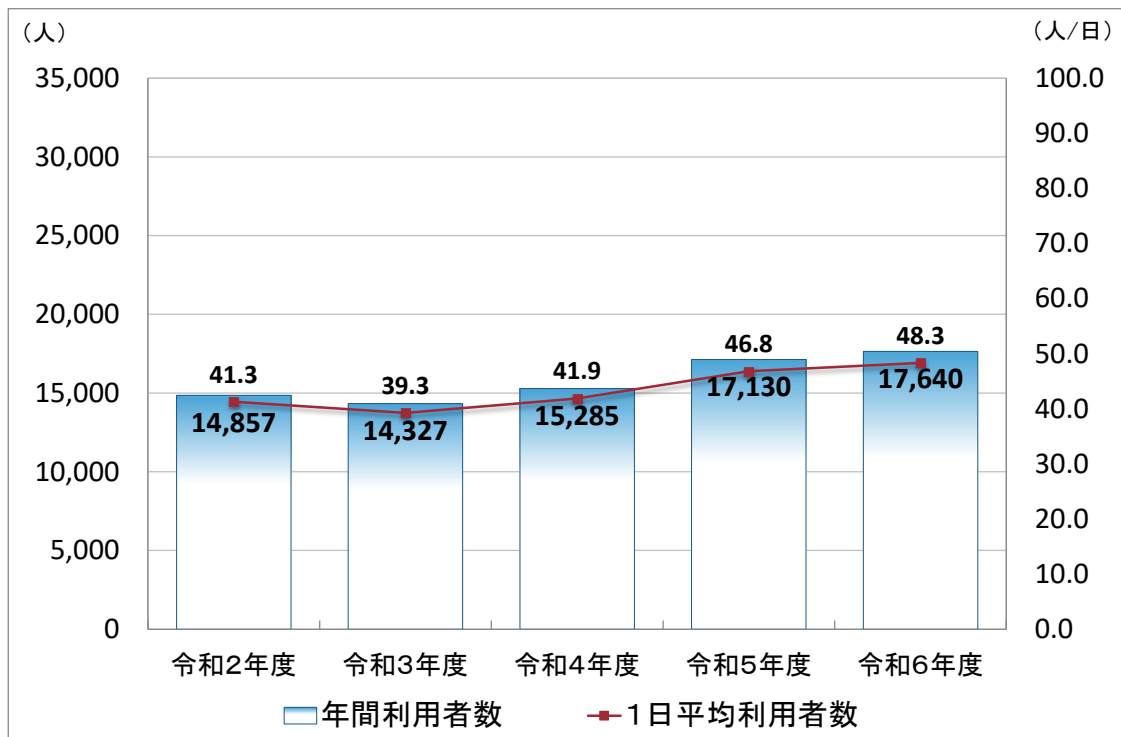


図 生地循環線 年度別利用者数推移

(7)【路線バス】石田三日市線の利用状況

- ・ ルート変更を実施した平成 28 年度以降は、利用者数の横ばい傾向が続く中で、令和 2 年度に新型コロナウイルスの影響で利用者数は大幅に減少するものの、令和 3 年度以降は回復し、令和 4 年度には令和元年度を超える回復が見られていました。
- ・ 令和 5 年度の利用者数は、再び低調基調に転じており、1 日平均利用者数は 30 人を切る状況となっていたものの、令和 6 年度の利用者数は増加に転じ、1 日平均利用者数は 30 人を上回っています。

表 石田三日市線 年度別利用者数推移

	令和 2 年度	令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度
利用者数	5,481	7,094	8,268	7,231	7,395
前年対比	68.3%	129.4%	116.5%	87.5%	102.3%
1 日平均	22.7	29.2	34.0	29.6	30.2
1 便平均	1.0	1.3	1.5	1.3	1.4

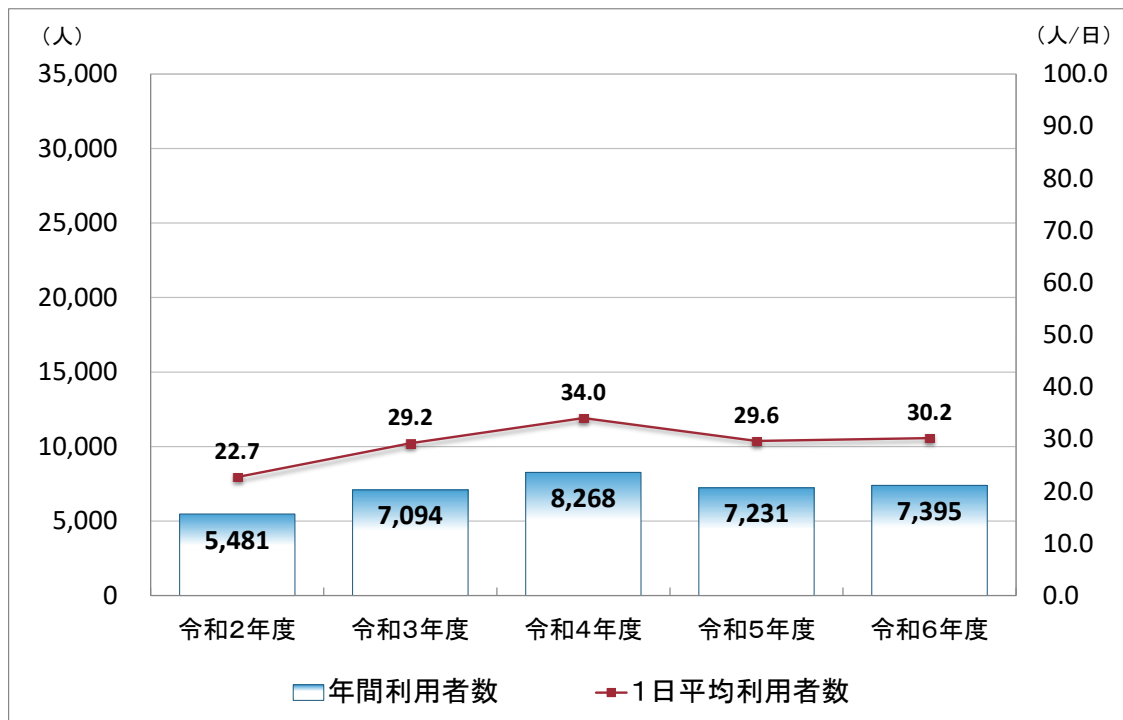


図 石田三日市線 年度別利用者数推移

(8)【路線バス】池尻線の利用状況

- ・ 平成27年度以降は利用者数が増加傾向にあり、平成30年度より平日のみの運行となったものの、1日平均利用者数は35人前後を保っていましたが、令和2年度には新型コロナウイルスの影響で利用者数は大きく減少しました。
- ・ 令和3年度には利用者数が回復したものの、令和4年度以降は減少と増加を繰り返しており、令和6年度は前年度と比較して大きく減少しています。

表 池尻線 年度別利用者数推移

	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
利用者数	7,689	9,069	7,809	9,081	8,053
前年対比	80.1%	117.9%	86.1%	116.3%	88.7%
1日平均	31.8	37.5	32.3	37.8	32.9
1便平均	2.6	3.1	3.2	3.2	2.7

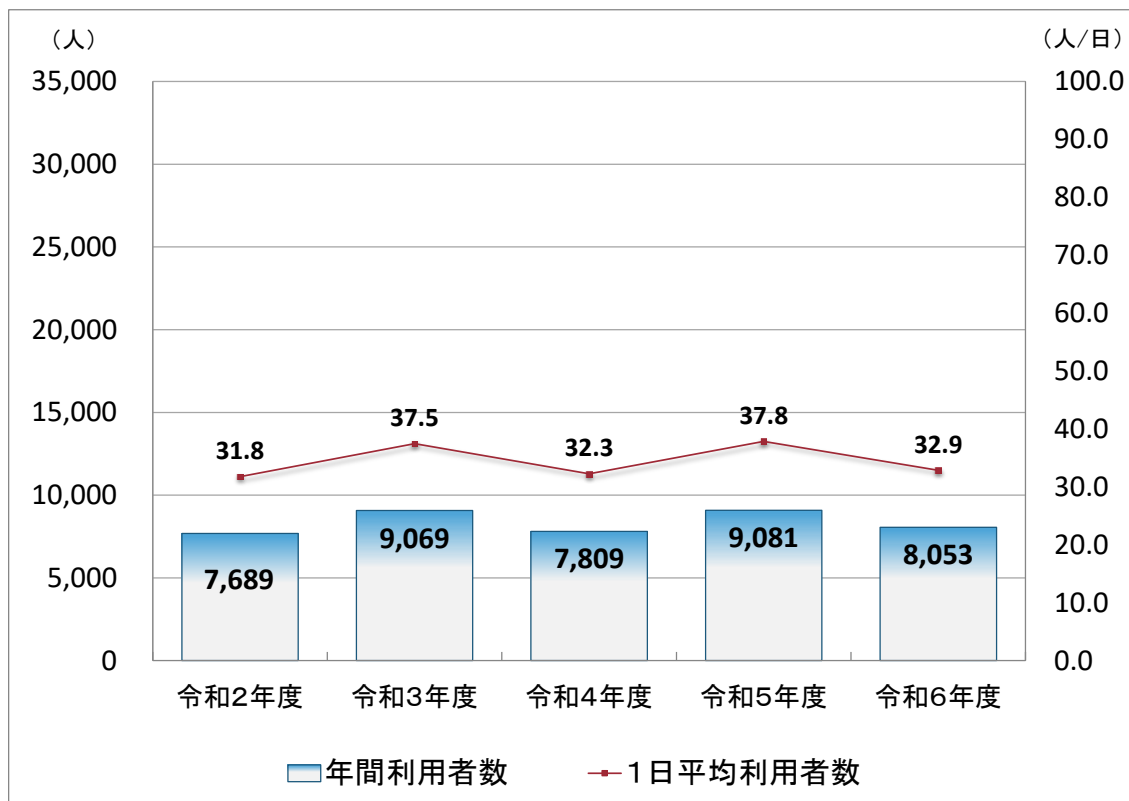


図 池尻線 年度別利用者数推移

(9)【路線バス】南北循環線の利用状況

- 新型コロナウイルスの影響により、令和2年度に利用者数が大きく減少するものの、令和3年度以降は回復傾向となり、令和5年度は大幅な増加が見られ、令和6年度も増加が続いています。
- なお、一般利用も含め、令和6年度においては350人/日程度の利用と、当初目標としていた440人/日（YKK社員420人/日、一般20人/日）に対して8割弱の水準となっています。

表 南北循環線 年度別利用者数推移

	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
利用者数	57,134	62,646	67,309	83,816	85,194
前年対比	58.8%	109.6%	107.4%	124.5%	101.6%
1日平均	235.1	256.7	273.6	342.1	347.7
1便平均	5.7	6.3	6.7	8.3	8.5

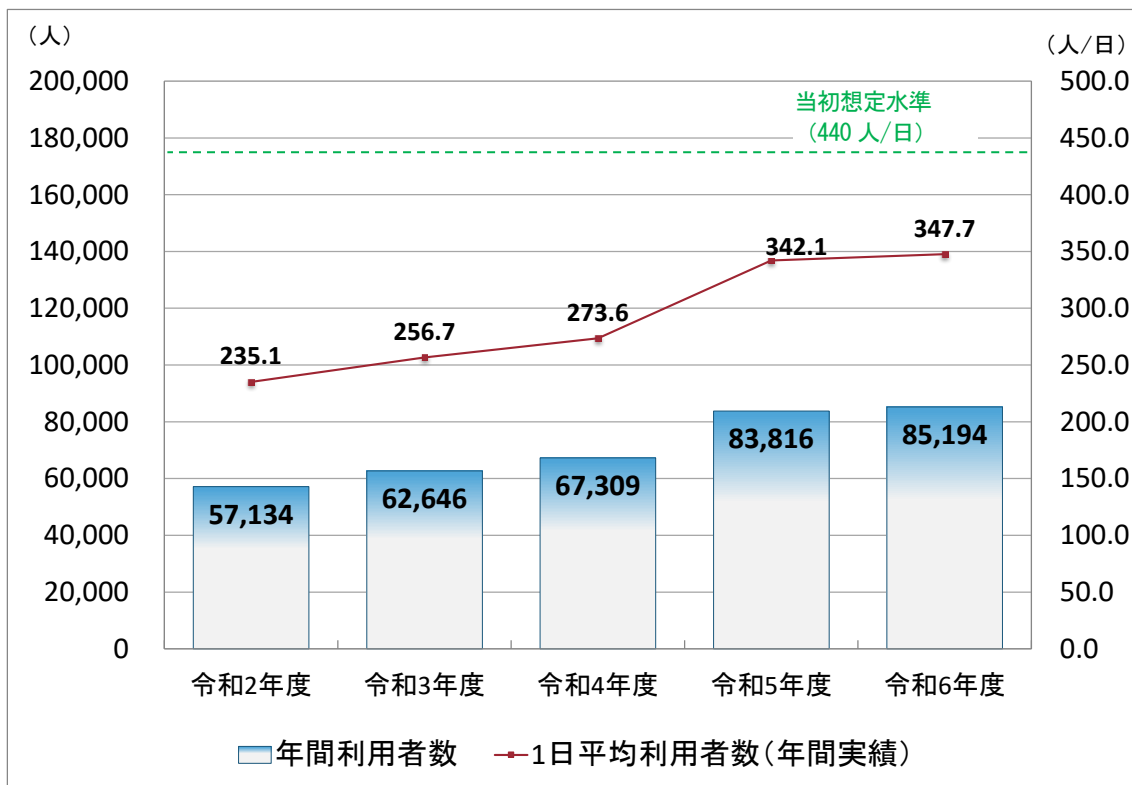


図 南北循環線 年度別利用者数推移

(10)【コミュニティ交通】愛本コミュニティタクシーの利用状況

- 平成30年度以降、年間利用者数は緩やかな減少傾向となる中で、令和4年度は前年度と比べ大きく減少し、令和5年度はいったん回復するものの、令和6年度は再び減少に転じています。

表 愛本コミュニティタクシー 年度別利用者数推移

	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
利用者数	4,250	4,167	3,406	3,804	3,602
前年対比		99.4%	81.7%	111.7%	94.7%
1日平均	17.5	17.2	14.0	15.6	14.8

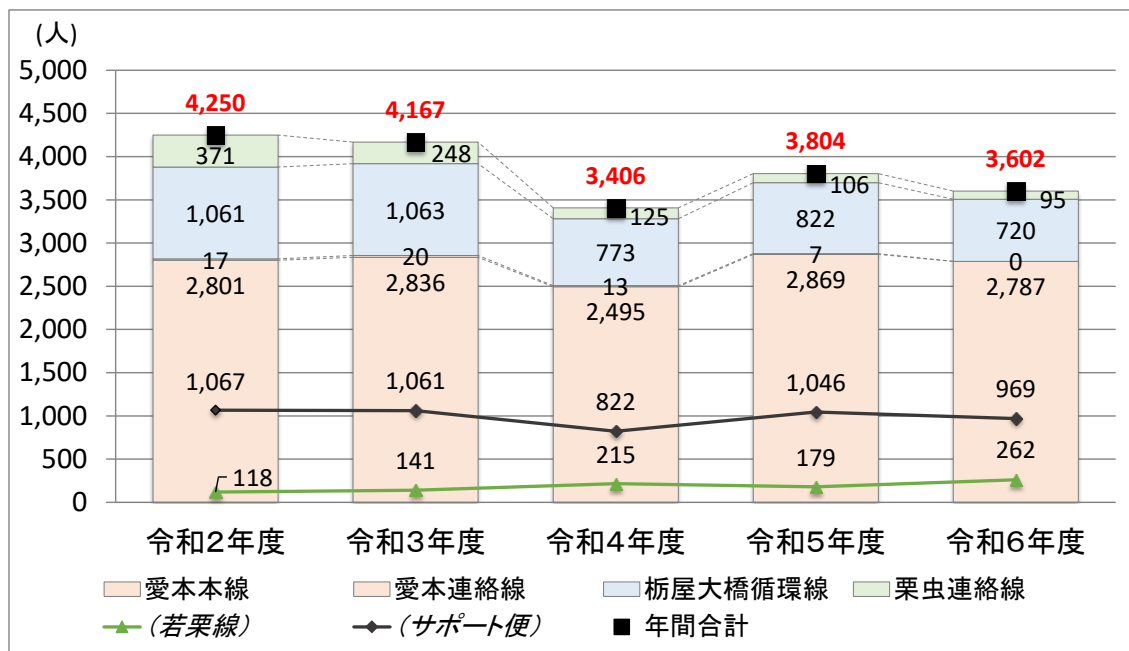


図 愛本コミュニティタクシー 年度別利用者数推移

(11)【コミュニティ交通】デマンドタクシー(田家・前沢地区)の利用状況

- ・ 年間利用者数は、平成28年度以降増加傾向が続いており、他の路線が新型コロナウイルスの影響を大きく受ける令和2年度以降も増加傾向となっていました。令和4年度からは大幅に利用者数が減少し、令和6年度も減少が続いています。
- ・ 利用者数を地区別にみると、田家地区では令和2年度から増加傾向が継続していますが、前沢地区はこれまで続いていた増加傾向が令和4年度から大きく減少に転じ、令和6年度も減少が続いています。
- ・ 1日及び1便当たりの乗客数については、田家地区では横ばい傾向が続いていますが、前沢地区では令和4年度から減少に転じており、令和5年度には利用者数が大幅に減少し、令和6年度も減少傾向が続いています。

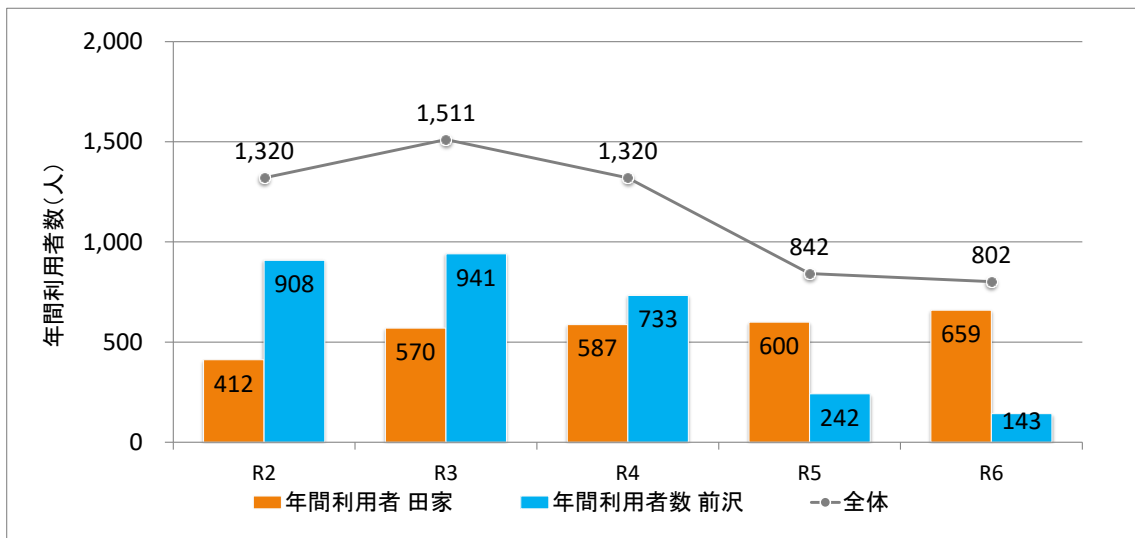


図 デマンドタクシー(田家・前沢地区) 年間利用者数推移

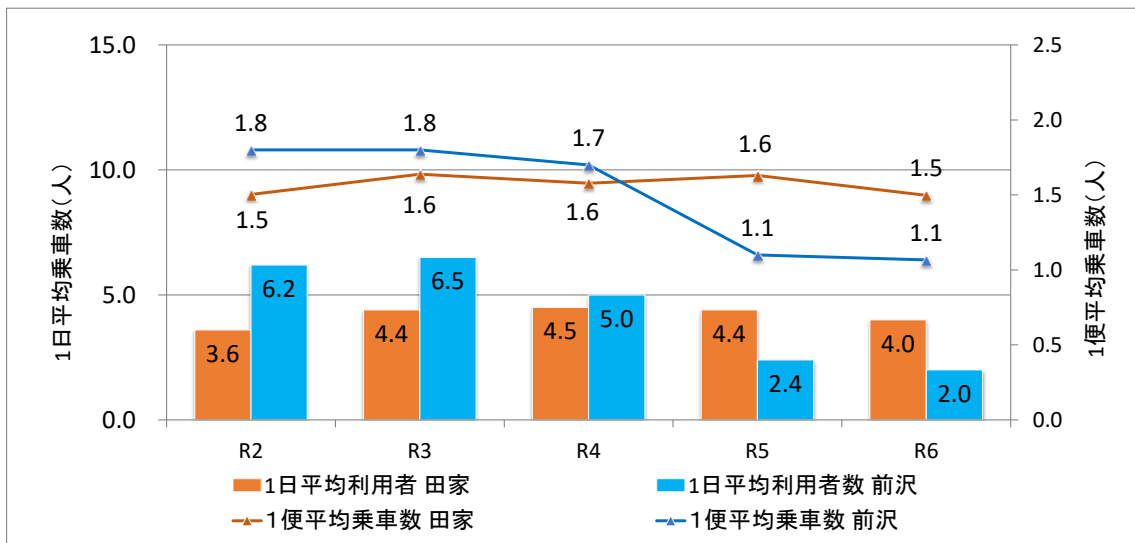


図 デマンドタクシー(田家・前沢地区) 1日平均及び1便平均利用者数推移

(12)【コミュニティ交通】デマンドタクシー(村椿・大布施・荻生地区)の利用状況

- 平成27年11月の運行開始以降、令和元年度まではおおむね順調に利用者数が増加してきましたが、令和2年度は、新型コロナウイルスの影響もあり減少に転じました。
- 令和3年度には利用者数が回復したものの、令和4年度より再び減少に転じる結果となりました。
- 利用者数を地区別にみると、村椿・大布施地区では令和3年度から増加傾向でしたが、令和6年度はおおむね横ばい傾向となっています。
- 荻生地区は令和3年度にいったん回復するものの令和4年度からは再び減少に転じ、令和6年度も減少が続く結果となりました。
- 1日及び1便当たりの乗客数については、村椿・大布施地区では近年横ばい傾向が続いていますが、荻生地区では、令和6年度の1日当たり平均乗車者数は増加しているものの、1便当たり平均乗車数は減少が続いています。

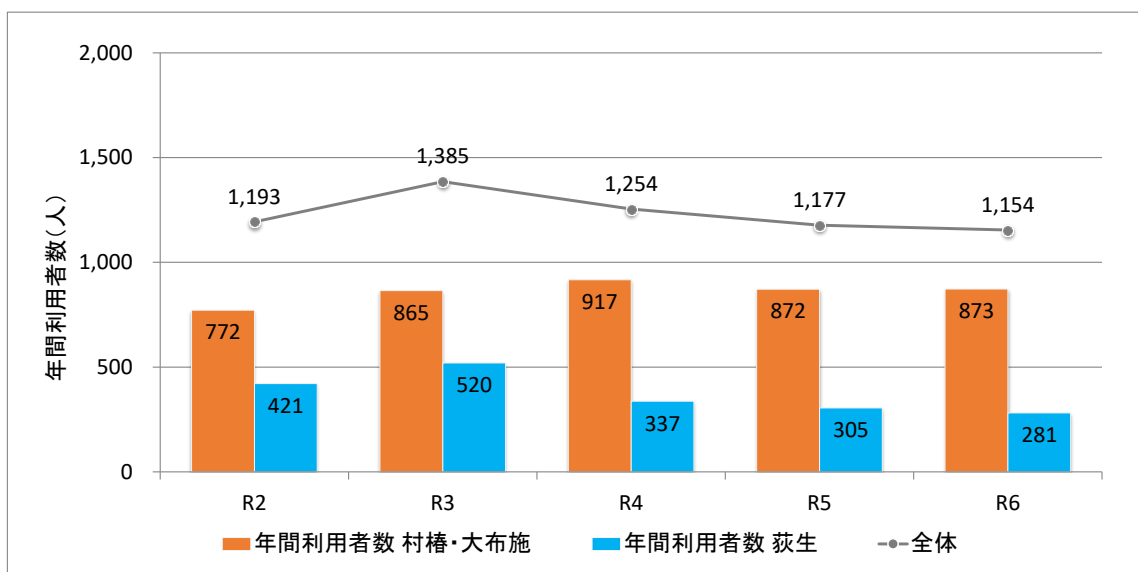


図 デマンドタクシー(村椿・大布施・荻生地区) 年間利用者数推移

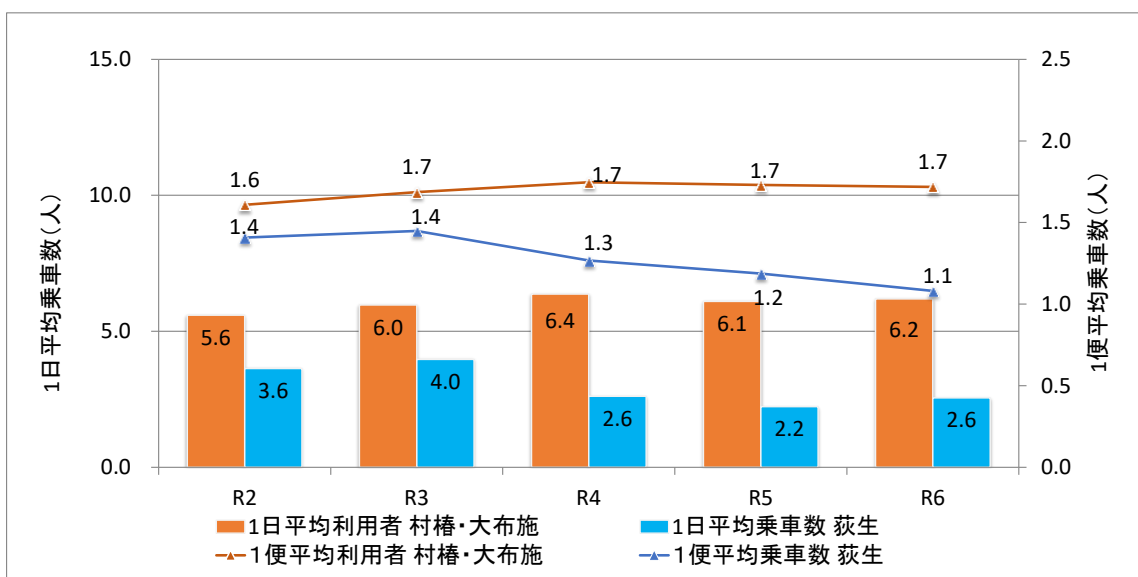


図 デマンドタクシー(村椿・大布施・荻生地区) 1日平均及び1便平均利用者数推移

(13)【実証運行】電動ミニバスの利用状況

- ・ 実証運行期間の利用者数は、Aルート（市民病院～北新・東三日市）合計で123人、Bルート（市民病院～大黒町・櫛町）合計で219人、両ルートの合計で342人でした。
- ・ 運行日における1便当たりの利用者数をみると、Aルートは1.8人であるのに対し、Bルートは3.2人であり、Bルートが多くなっています。
- ・ 便別利用者数では、Aルート、Bルートとも4便、2便が多くなっています。

■実証運行概要 運行期間：令和6年10月21日（月）～11月29日（金）※土・日・祝日を除く
 運行時間：【午前】9：00～12：00、【午後】13：00～16：00
 運行経路：【Aルート】市民病院～北新・東三日市（月・水・金）
 【Bルート】市民病院～大黒町・櫛町（火・木）

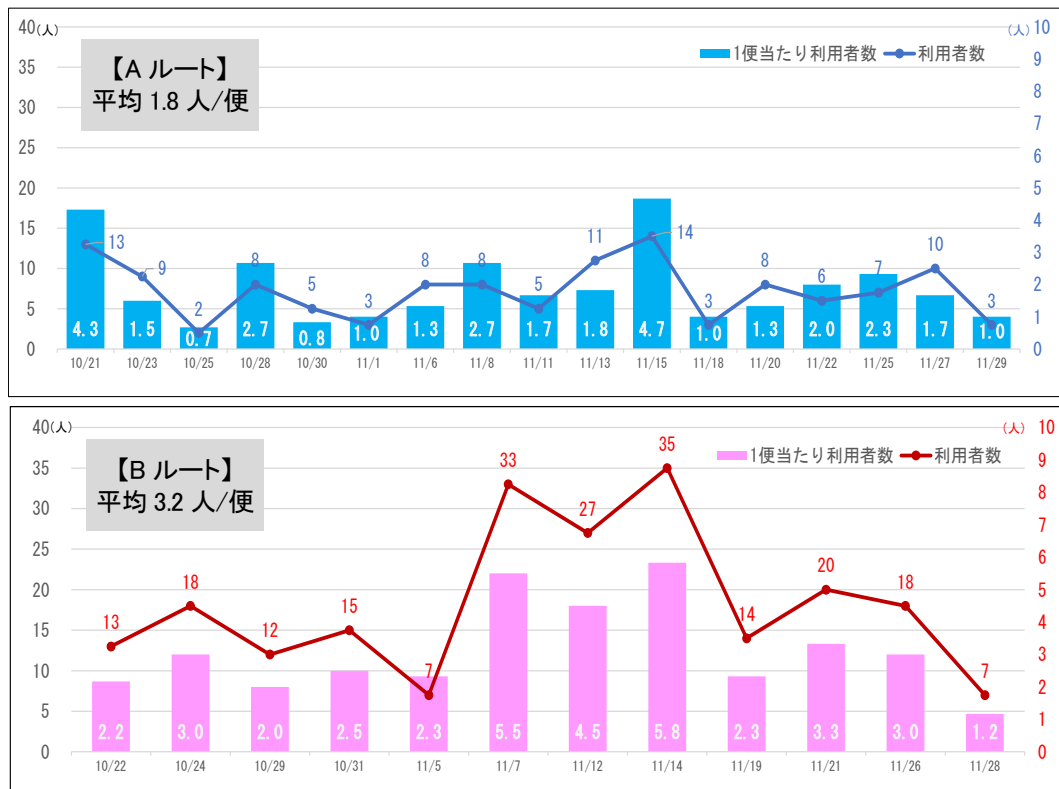


図 電動ミニバス実証運行 運行日別利用者数

表 電動ミニバス実証運行 便別利用者数

ルート	運行便数	便別利用者数						合計利用者数	1便当たり利用者数
		1便	2便	3便	4便	5便	6便		
A ルート	69 便	13 人	34 人	11 人	37 人	11 人	17 人	123 人	1.8 人
B ルート	69 便	16 人	43 人	23 人	59 人	32 人	46 人	219 人	3.2 人
合 計	138 便	29 人	77 人	34 人	96 人	43 人	63 人	342 人	2.5 人

(14)【実証運行】暮らしのサポート便の利用状況

- 令和6年度の利用者数は合計で133人／年であり、1日平均利用者数は1.5人／日となっています。
- 月別の利用者数をみると、比較的利用が多い（2人／日以上）のは4月～6月、11月であり、比較的過ごしやすい季節となっています。一方、比較的利用が少ない（1人／日未満）のは、7月、1～3月の夏季や冬季となっています。

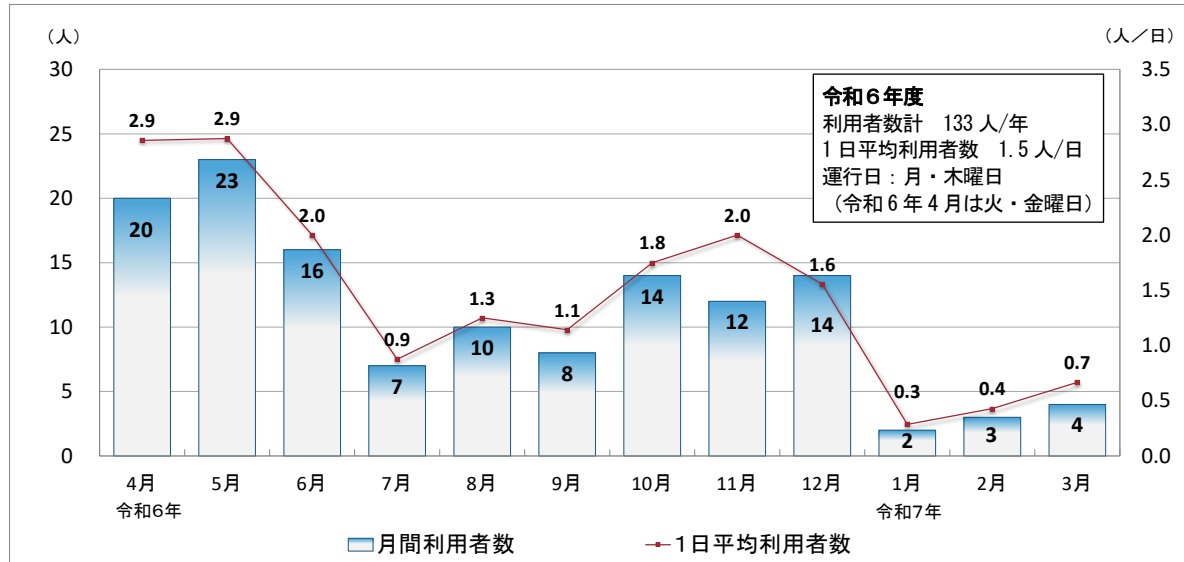


図 暮らしのサポート便 令和6年度月間利用者数推移

(15) 市内公共交通利用者数 全体

- ・ 路線バス6路線と愛本コミュニティタクシーの利用者数（全体）は、令和3年度から回復傾向となり、令和5年度は大幅な増加が見られ、令和6年度も増加が続いています。
- ・ デマンドタクシー利用者数（全体）は、令和3年度は増加傾向となっていました、令和4年度からは大幅に利用者数が減少し、令和6年度も減少が続いています。
- ・ 地区別に見ると、令和6年度は、村椿・大布施、田家地区での利用が多くなっていますが、令和2年度に最も利用が多かった前沢地区は、令和6年度には最も利用が少ない地区となっています。

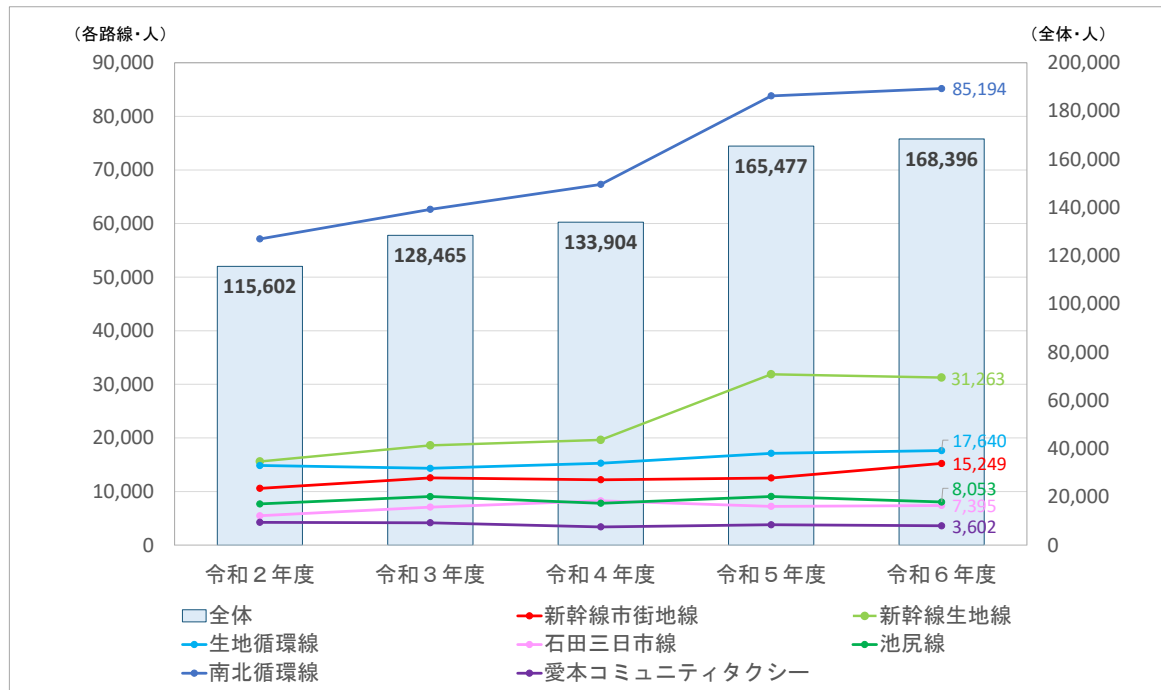


図 路線バス及び愛本コミュニティタクシー利用者数推移

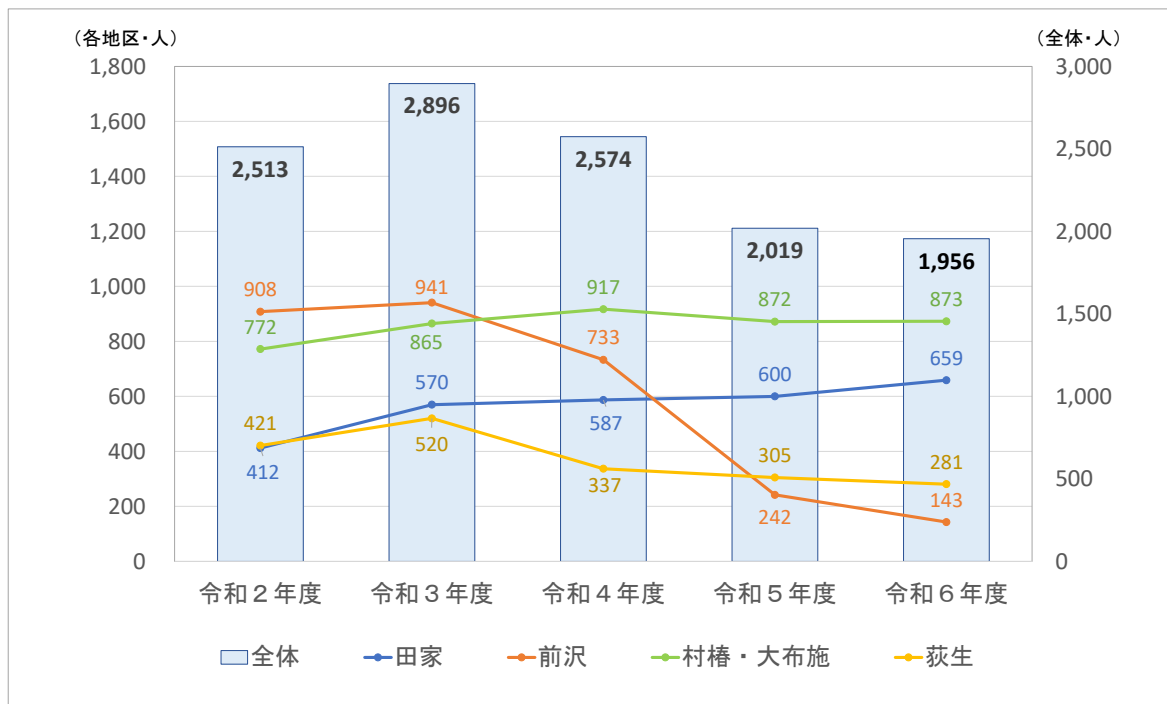


図 デマンドタクシー利用者数推移